

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2014年3月10日
住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03-3956-1068(陽光保育園)

73号

桜が芽吹く3月、保育園では卒園を間近に控えた子どもたちが学校への期待に胸を膨らませ、残り少ない保育園生活を楽しんでいます。それとは裏腹に、お父さんやお母さんには小学校入学を不安に思う人が多いようです。心配の種はいろいろですが、「勉強についていけないのか」がやはり一番の気がかりのようです。2010年の朝日新聞に「幼稚園卒 高い合格率」という見出しで、幼稚園と保育園の出身によって学力テストの結果に差があったことが、短絡的に報じられていました。保育園の保護者はどうしても不安をあおられます。しかし子どもはいろいろです。1人1人がその子らしさを発揮できるのが一番です。早期教育の本(横峰式)に「すべての子どもは天才」と書かれているそうですが、「すべての子どもは普通」であってもいいのでは。子どものできないことを支えようとするのは、子どもにとっては、できないことを突きつけられることとなります。今のこの瞬間を大事に、子どもでこの成長にも寄り添って、自尊感情が育つ余白をもった学校生活が送れること願ってやみません。(H・T)

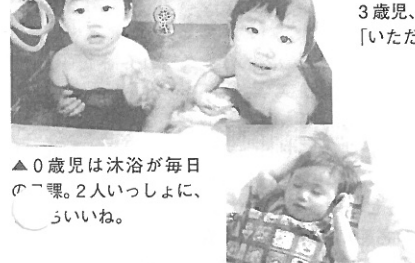
保育園って
どんなところ?



▲リヤカーに乗って遠足へいく2歳児クラス。お弁当を背負ったリュックを背負って「いってきま〜す!!」。2〜4歳児は年5回、5歳児は年7回遠足へ。



▶助木で遊ぶ1歳児。登ったり下りたり、またいだり、すべったり、思い思いに体を動かして楽しみます。



▶おいしい給食を囲んで3歳児、元気いっぱいに「いただきますー!!」



▲0歳児は沐浴が毎日の課題。2人いっしょに、ぶいね。



▶「おやすみなさい」。トントンすると、いつのまにかぐっすり……。かわいー1歳児の寝顔です。



▲5歳児は今、卒園式に向けて、荒馬跳りの練習の真っ最中。荒馬も、木を削り、布を縫い、自分たちで作った自分だけの荒馬です。自分で納得するまであきらめず、懸命に課題に取り組む子どもたち。いつも真剣そのものです。

保育園の一日

おはよう!



▶朝のミルク。哺乳瓶を自分で持とうとする赤ちゃん。月齢によってミルクの時間はさまざま。



▲保育園の砂場は子どもたちに大人気。午前も午後も、砂場ではいつも子どもたちの元気な声が響きます。山を二つ作って橋をかけ、渡っていくのは2歳児の子どもたち。「3びきのやぎのがらがらどん」ごっこのはじまりです。



▶おいしい給食を囲んで3歳児、元気いっぱい「いただきますー!!」



▲お昼寝の前やあとの絵本の読み聞かせはどのクラスでも。子どもたちはみんな集中。



▶18時からは延長保育。好きな遊びをしてお迎えを待つ子どもたち。「今日は何して遊ぼうかな」



▲20時お迎えの子どもは保育園で夕食を食べて帰ります。乳児、幼児がいっしょに食べるのはこの時間ならではです。

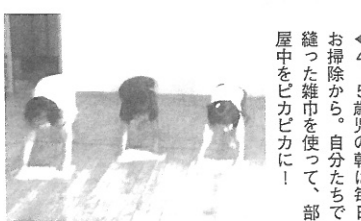
登園
遊び・散歩など
給食
お昼寝
おやつ
遊び・散歩など
延長保育



7:00
8:00
9:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
18:00
19:00
20:00



▶保育園の一日は7時スタート。みんな「おはようございますー!」と元気に登園。



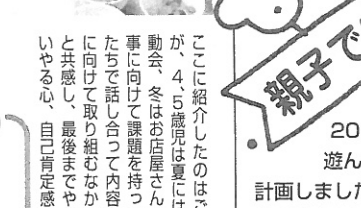
▶保育士といっしょに「リズム」を踊る1歳児。止まったポーズ、上手でも朝のウォームアップは大切です。



▶公園で落ち葉ひろいを楽しむ3歳児。天気の良い日は、0歳児から5歳児まで、どのクラスも、毎日のようにお散歩へ。



▶給食時、4、5歳児は自分たちで配膳も、上手にできるかな。



▶午後のゆったりした時間はお絵描きタイム。紙面いっぱい思いのままペンを走らせる4歳児。



▶歌も毎日の日課のひとつ。大きな声で歌う5歳児。年中行事を行ったり、そのための準備などを行うのも、午前や午後の遊びの時間帯です。

遊びこそ学び

子どもたちは保育園で、さまざまな経験をしながら、たくましく大きく成長していきます。よく食べ、よく寝て、よく遊び、自然ともお友だちです。五感を使って身体をいっぱい動かして遊ぶ子どもたちは、遊びのなかからたくさんを感じ取り、学んでいきます。遊びは学びの宝庫です。子どもたちの保育園での一日をご紹介します。

親子でいっしょにあそびましょう

●陽光保育園●
2014年度も、保育園の子どもたちが日ごろ遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。これまでに参加されたみなさまからも「家庭ではできないことができてよかった」「とても楽しかった」など、たくさんの感想をいただいています。公園ではできない遊びが体験できますよ。親子で気軽に遊びにきてください。無料です。
場所 陽光保育園(板橋区大谷口上町23-1) ☎3956-1068
時間 午前9時30分〜11時(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児〜就学前のお子さんと保護者
*参加ご希望の方は実施予定日の3日前までにお電話ください。
*動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。
*お天気により内容を変更する場合があります。
*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操・あやし遊びなどでゆったり過ごします。

2014年度◆年間予定

4月22日(火)	5月27日(火)	6月24日(火)
7月16日(水)	8月5日(火)	9月9日(火)
10月30日(木)	11月26日(水)	12月9日(火)
1月20日(火)	2月17日(火)	3月3日(火)

* 9月:看護師が「健康」について相談を受けます。
* 1月:栄養士が「食」について相談を受けます。



子どもの心のコーチング

講師 菅原裕子先生



北町保育園では、1月20日、菅原裕子先生をお招きし、共育講座を行いました。職員、他に父母13名、外部から7名の参加がありました。内容の一部をご紹介します。

子どもの自立とは自分で考えて行動できること。子どもが自立するためには、しつこくではなく三つのことを教えましょう。それは、(1)愛すること、(2)責任、(3)人の役に立つ喜び、この三つということです。

(1) 愛することとは、自己肯定感を持つこと

子どものできないことをやらせたり、指摘するのがしつこくではありません。親は子どもが自分の理想にならなっていないと、子どもを責めてしまいがち。しかし、マイナスの言葉掛けをすると、その言葉が子どもの潜在意識に刷り込まれてしまいます。何を言ったかではなく、子どもの心に何が残るかが問題です。本当のしつこくは子どものできることを見つけること。小言は減らし、ひとつ良いことをほめてあげましょう。

(2) 責任とは、反応する力のこと

例えば3歳の子どもが水をこぼした場合は、子どもはその水を拭くことができます。

(3) 人の役に立つ喜びとは、お手伝いのこと

「あなたメッセージ」とは「えらいわね」「いい子ね」など、あなた(子ども)をほめるもの。「わたしメッセージ」のほめ方とは「ありがとう」「うれしい」「助かった」など、子どもがやったことが親(他人)にとってどうだったかを伝えるもの。後者のほうが親と子どもが共感できます。

子どもの世界

～板十小あいキッズ～

2年生 — 好きな人

ある日の放課後、Y君とお友だち。Y君はどうかややお友だちの秘密を握っているようです。Y君「やーい、おまえの好きな人、オレ知ってるんだからな〜」(ニヤニヤした顔で)友人A「う、うるせーな〜」(かなり動揺した様子)指導員「ふう〜ん、私、Y君の好きな人知ってるよ」Y君「う、うるせえな〜」(顔が赤くなる)お友だちをからかうつもりが、思わぬ邪魔の入ったY君でした。

1年生 — セミのぬげがら

夏のある日、セミのぬげがらを持って帰ってきたS君。学童クラブでは名前を読み取る機械にカードをかざして入室するのですが、そのカードリーダーの上にセミのぬげがらを置き、真面目な顔でパソコンを見ながら……、S君「「セミ」って出るかな〜」自分の名前がパソコン上に表示されるのと同じように「「セミ」も出る」と考えたS君。何とも可愛く、大笑いでした!

ごあんない

■陽光会後援会・春の交流会
日時 4月27日(日) 11時〜14時
場所 板橋区立平和公園
(上板橋駅北口徒歩5分)
ときわ通り・教育科学館そば)
参加費 大人 1人500円
(子ども、新会員は無料です)
*新会員の方の歓迎会もかねた交流会です。焼き肉、焼きそばなどを作ります。皿箸、コップ、おにぎりなどをお持ちください。

■陽光会後援会総会
日時 5月23日(金) 19時〜21時
場所 陽光保育園ホール
■陽光保育園 夏のバザー
日時 7月6日(日) 10時〜14時
場所 陽光保育園

ご利用・利用時間など
・月曜日〜金曜日(9時〜17時)
(土・日・祝日・年末年始休)
・1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから。ただし、板橋区発行「すくすくカード」ご利用の方は生後10か月から。
・一日1時間〜8時間。(ご希望の時間帯で利用できます。)
◆お申し込み・お問合せ
直接、陽光保育園へ。
(03)5691-1068、受付時間10時〜17時
緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。
・事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。
・利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。

菅原裕子さん◆プロフィール
NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事、有限会社ワイズコミュニケーション代表取締役。1977年より人材開発コンサルタントとして、企業の人材育成の仕事に携わる。従来の「教え込む」研修とは違ったインタラクティブな研修を実施。参加者のやる気を引き出し、それを行動に結びつけることで、社員と企業双方の成長に貢献。1995年、企業の人育てと自分自身の子育てという2つの「能力開発」の現場での体験をもとに、子どもが自分らしく生きることを援助したい大人のためのプログラム「ハートフルコミュニケーション」を開発。各地の学校やPTA、地方自治体主催の講演会やワークショップでこのプログラムを実施、好評を得る。
著書に「子どもの心のコーチング——一人で考え、一人でできる子どもの育て方」PHP文庫、「思春期の子どものコーチング」二見書房他多数。

◎寄付のご協力ありがとうございます。
(2013年10月23日〜2014年2月28日/順不同・敬称略)
北澤三千子、伊東靖子、小川正巳、高久ますみ、小山陽子、正司房
◎財政活動 陽光Tシャツ販売
◎寄付のお願い (1口5000円/何口でもけっこうです)
郵便振替口座番号 00140-0-260468
口座名義 陽光保育園建設委員会
*上記口座にお振込いただけると幸いです。領収書が必要な方はお書き添えください。寄付金控除の対象になります。

◆こんなときご利用ください
・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など。
・また保護者の傷病・被災・事故・出産・冠婚葬祭などの緊急時。
・保護者の子育て不安・リフレックスなど。
・育児相談 健康診断等で、お子さんが保育園での保育が必要と認められたとき。

ようこうほいくえんの
一時保育

◆ご利用・利用時間など
・月曜日〜金曜日(9時〜17時)
(土・日・祝日・年末年始休)
・1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから。ただし、板橋区発行「すくすくカード」ご利用の方は生後10か月から。
・一日1時間〜8時間。(ご希望の時間帯で利用できます。)
◆お申し込み・お問合せ
直接、陽光保育園へ。
(03)5691-1068、受付時間10時〜17時
緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。
・事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。
・利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。

二度と戦争のない世の中に

シリーズ 戦争と私

林 麗子

1945年8月15日、私は15歳でした。父親の勤務の関係で、満州国(現中国東北部)牡丹江市に住んでいました。動員先の陸軍病院から「帰宅せよ」との命令で家に帰ると、母が「戦争に負けたらしい。急いで逃げよう」と言い、持てるだけの荷物を持って駅に向かいました。そこは、「押すな、押すな」の情景でした。

そこへ、家族ぐるみのおつきあいをしていた中国人の青年が近づいてきて、「来い!」とひとこと言ったかと思うと、こったがえした列車の昇降口から私たちを別の昇降口へ連れていき、列車に押し込んでくれました。ホッとして周囲を見回すと、中国人ばかりでした。「怖い!」という思いがはりました。そのとき、「来い」と言ったあの中国人の青年が周囲に何かを訴えると、空気は一変し、私たちに好意の目が向けられました。茹でたじゃがいもまでいただいたことは、忘れられない思い出です。

葫蘆(コロ)島に着き、列車から降ろされ、米軍が使っていた「上陸用船艇」に乗せられました。息が詰まりそうな船底生活が続きました。水と食べ物は、一食分が一日の食べ物でした。年寄りや食べ物を子どもに譲って亡くなり、幼子は「天皇陛下様、おなががすいた」と言って死んでいきました。遺体は海に投げ捨てられました。それを狙って魚が集まり、その魚を釣って、その場で食べる男の子。まさに生き地獄でした。博多に上陸させられるまで、こんな状態が続きました。毎日毎日こんな様子を見てみると、人間は感情がなくなっていくのかもしれない。恐ろしいことです。

死ぬことは美徳であると国民に宣伝し、第二次世界大戦で大儲けした政府高官と死の商人を、今また活気づかせてはいけないと、強く感じています。
(連沼町在住/板橋生活と健康を守る会会員)

*葫蘆(コロ)島:満州から日本への引揚船の出発地として有名。

お父さんの出番です!!

未来への責務

娘よ、キミは7年間くらいいたからまだいいが、父は41年分の記憶を抱えているのだよ。そんなにすぐには思い出せないのだ、少しハチンデをくれてもよいではないか。と思うもの、いつか首を垂れ「すんません」。

父の威厳とがなくなったもんじゃない。そんな現代を父として生きることに困難さに日々直面しつつも、未来のことを考えているから、過去のことは忘れてしまおう。昨夜の献立が何だったかなんて瑣末なことにかがずらわっていられないのだ。無駄に大きく出ている父。

「未来のことって何? かかすらわって何?」。冷静な娘、小学1年生。こたわつていられないというとき、例えばね、これから将来キミが結婚して子どもが生まれたらどう、かわいだろう。私にとっては孫だ。たいそう可愛がるね。それはいい、そしてキミには子育ての他にやるべき仕事がある。その場合、保育園に子どもを預ける、保育園を卒園する。小学校に入学する、ランドセルピカピカのキミと同じ1年生だ。さて、放課後、どうするの? 板橋区、学童ないじゃないってなつたときに半キレのキミが「パパ、なんで板橋区には学童クラブがないの?」「……」「何で黙ってるの?」「……」「語らぬことに関しては、沈黙しなければならぬ」「何それ(怒)」「これはほんの一例だ。」「学童クラブを巡る現状に関して、未来の子どもたちに語るべきことは何も持ちあわせていない。それでも少しでも未来に託してあげたいと思ってるし、今を生きてる親としては、そうする責務がある」と感じている。

学童からの帰り道、娘が歌ってくれる。「アイイ ピリッ イン フューチャー レーじーてる」「パパ、昨日の夕飯なんだった?」「カレー」「フー、また忘れたの」「すんません」。どこかの家からカレーの匂い。夕暮。
(板十小あいキッズ4年生・風、1年生・この父 石塚利郎)